

施策評価 農業・コミュニティー

『農業』

〈主な対象事業〉

- 農産物育成・販売推進事業
- 特產品開発推進支援事業
- 地域担い手育成総合支援事業
- 経営所得安定対策関連事業
- 鳥獣被害防止対策事業

〈評価〉

- 地域農業を守り、地産地消を推進する施策・事業は必要性が高いが、どちらかといえば費用対効果が少なく、期待する成果が得られていない。
- 施策の成果や課題が適切にわかるような指標を示していくことが大切である。
- 本施策の場合、指標数値の増減が必ずしも本施策の成果や課題とはならない。
- 地域の実情・実態からの評価も大切である。
- 都市近郊型農業の推進は重要であるが、農業従事者数(年齢層別も含む)、主要農産物の生産量や耕作面積等のデータや情報が乏しく、具体的な成果が見てこない。
- 学校給食を含む地産地消は、地域にとって大切な事業であるが、学校への供給量だけではなく生産量や納入者数が指標として示されていないので成果と課題が見てこない。
- ブランド農作物の強化や6次産業化に係る指標が全くない。この状態が何年も続いている。



〈提言〉

都市近郊型農業を中心とする農業は、地域農業を守るだけでなく地域の安全安心な「食」や、緑豊かな自然を守ることにもなる大切な施策である。

しかし、農業従事者の高齢化、就農人口の減少（担い手不足）、荒廃地や耕作放棄地の防止対策等、大きな根本的課題が山積みである。

施策を推進するために、新規就農者（担い手）の確保と育成、認定農業者に支援、農地の利用集積の推進、各種支援制度に周知と活用、町単費を導入しての事業強化を行なうとともに、町の農業をしっかり守るための行政の姿勢を明確に示す必要がある。

議会だより174号でお知らせしていました「施策評価」です。

令和2年度の決算審査を通じ農業とコミュニティーの施策評価を行いました。その結果を提言書として取りまとめ、昨年10月12日に町長に提出しました。今後のまちづくり施策に反映されることを期待します。

『コミュニティー』

〈主な対象事業〉

- 集会所管理事業
- 地区集会所感染症対策事業
- コミュニティーホール運営事業
- 自治会等関係経費

〈評価〉

- 非常に必要性の高い施策であるが、どちらかといえば費用対効果が少なく、今後の方向性が見てこない。
- 本施策の場合、指標数値の増減が必ずしも施策の成果や課題とはならない。（例：小学校区別多目的施設整備率は100%でも、役場2階のホールは利用しにくく、さくらホールも周知不足で利用者が少ないうえに、借用施設で改善なども行いにくい）
- 自治会による格差はあるものの、指標から「防犯や防災など地域力の向上につながった」と成果を記しているが、指標の自治会加入率やコミュニティーホールの稼働率低下からは成果として判断し難い。
- 自治会加入率の低下に、少子高齢化が大きく影響している。自治会毎（または小学校区毎）の平均年齢、15歳以下及び65歳以上の人口資料や地域の特性（歴史）も必要である。



〈提言〉

自治会活動を中心としたコミュニティー形成は、社会組織、生活様式、主義信条の多様化、および少子高齢化などで年ごとに厳しくなっているのが、自治会加入率の低下などに現れている。

抜本的な対策が必要な時期に至っている。条例や啓発強化で自治会の加入率を上げようとしている自治体もあるが、必ずしも加入率向上がコミュニティー形成の向上となるものではない。協働、共助、ボランティア活動を充実してコミュニティー形成を図ろうとする自治体もある。今、行政が本町に地域コミュニティーの姿をはっきりと見据えて、方針・対策を明確にして町民に働きかける時である。

また、小学校区単位での広域化した自治会活動を基盤に据えるならば、方針・目的や短期・中期・長期の計画を具体的にしてビジョンを町民に提示しなければならない。

その後を追う どこまで進んだの!?

議会だより 171号より
(R3.2.1発行)



学研泊田地区の産業集積は

その時の答 捩野の広い産業集積を目指す

その後現在は …… 令和3年度に入り、学研泊田地区のうち学研泊田東地区の造成工事がようやく始まりました。これまでから京都府と開発事業者との協議を重ねる中で、丘陵部での住宅ゾーン整備は行わず、「川上から川下まで」幅広い産業集積を目指すことに至ったわけですが、学研泊田地区への産業集積が泊田地域の将来のまちづくり、ひいては精華町の未来の発展を支えるものであることを住民の皆さんに広くお伝えできるよう努めています。
(企画調整課)

スマホアプリの公金納付制度の導入は

その時の答 令和3年4月より運用開始

その後現在は …… 令和3年4月1日からスマホの決済アプリ（LINE、PayPay、PayB）を利用して税・料金・使用料などが納付できるようになりました。専用のアプリをダウンロードし、納付書に印字されたバーコードを読み取って納付する方法で、24時間いつでもどこでも納付ができます。9月までの半年間で、納付書による支払いのうち5.7%が、スマホを利用して納付されました。
(会計課)

要配慮者避難の対策は

その時の答 避難勧告レベル3で要配慮者は避難する

その後現在は …… 危機管理室では、現在「要配慮者実態調査」及び「避難行動計画」の2つの事業を展開中です。要支援者実態調査は、要配慮者の避難誘導のため、自治会内に具体的な要配慮者の状況を把握し、個別避難計画に結び付けるものです。現在、組織作りのためモデル地区を選定中です。避難行動計画は自治会ごとに避難目標及び経路を明示するものです。
(危機管理室)



町では、現行の第5次総合計画が令和4年度で満了となることから、現計画における成果や課題を総括し、町の特性や社会情勢を踏まえるとともに、住民や各種団体などから幅広い意見聴取を行い、今後の町のまちづくり指針である総合計画を改定するとしています。

そこで、議会は第5次総合計画について、議会としての視点から課題整理を行い、第6次総合計画に向けて「提言」します。

そのための体制として特別委員会を組織し、情報共有と議会視点からの意見交換をして取りまとめを行います。常任委員会単位で2つの小委員会を設置し、実質的な議論を行っています。（各小委員会のメンバーは右表のとおりです）

昨年11月には、各小委員会で「第5次総合計画の総括」を行い、そして、4月に議会としての「第6次総合計画の提言、中間まとめ」を行う予定です。会議の開催日程は、議会ホームページで事前公開します。ご関心のある方は傍聴ができます。また、これまでの会議概要も可能な限り速やかに公開する予定です。

総合計画特別委員会の小委員会メンバー

第1小委員会

委員長 松田 孝枝
副委員長 奥野 弘佳
岡田 三郎
山下 芳一
青木 敏
植山 米一
塩井 幹雄
坪井 久行
村田 周子

第2小委員会

委員長 内海富久子
副委員長 森田 喜久
大野 翠
竹川 増晴
岡本 篤
森元 茂
山本 清悟
佐々木雅彦
(順不同)

街をつくる人

93

光台九丁目
子育てサークル
「9ぴーちゃん」

子育て仲間をつくりたい

★9ぴーちゃんのはじまり★

「9ぴーちゃん」ができたのは、今から15年前。光台九丁目に新しい家がたくさん建ち並び、子育てをする家族が増えた頃、子育て中のママたちが、「子育て仲間を作りたい」「誰でも気軽に集まれる場所を作りたい」「地域と繋がるきっかけにしたい」と2006年に発足、2007年に設立しました。



設立当初は、子どもの数が多く、未就園児の親子を対象に月2回、平日に活動をしていましたが、未就園児の数が減り働くママたちが増えると徐々に参加する人数が少なくなり、9ぴーちゃん存続の危機に陥りました。子育てサークルをしている地域では、同じような問題を抱えていることが多く、休会するサークルもあり、9ぴーちゃんも休会しようかという話が何度も出ました。しかし、

★活動内容★

現在、9ぴーちゃんには8組の親子が在籍しており、毎月1回、活動しています。

光台九丁目の集会所でハロウィンやクリスマスなどをしたり、出前保育に来てもらったり、公園遊びなどを行っています。今年度は、光台八丁目の子育てサークル「はっちさん」と合同で消防署見学にも行きました。

最近では、ママだけでなくパパの参加率も高く、家族全員で参加するメンバーも増えました♪



会員の声

9ぴーちゃんをきっかけに親も子どももお友達が増えました。毎月楽しい活動を考えてくれていて、お友達と一緒に遊んだり出かけたりすることを楽しんでいます。

9ぴーちゃんに行くと、子育ての悩みや苦労を共有でき、帰るときには心が軽くなります。日頃子どもにゆっくり向き合う時間が取れないので、親子にとっても貴重な時間になっています。子どもたちも楽しんでいて、これからもずっと仲良くしてほしいなと思いながら見守っています。

代表の方は、6人の子持ちのママさん！「9ぴーちゃん」に参加して間もないころに、顔見知りのいない私たち親子にも優しく何度も声をかけてくださいり嬉しかったことを覚えています。異年齢の子ども同士のふれあいはもちろんですが、ご近所のママさん・パパさんと交流できる貴重な場であることも魅力の一つです。

ハロウィンの時は、みんなで輪になって工作をし、のびのびとお絵かきして楽しんだり、出前保育では、親子で遊べるダンスやふれあい遊びを楽しみ、子どもたちにとっても良い機会になっています。子どもを遊ばせながら親同士が子育ての話をして楽しんでいます！



私自身の育休中に、自分の住んでいる地域にも育儿サークルがあればいいなと思い、9ぴーちゃんを立ち上げました。子どもが成長してからは、会報で今の活動を知るだけですが、地域に根差して活動を続けてくださっているママに本当に頭が下がります。「ママの笑顔が子どもの心の栄養」。私も今、ちょっと難しい思春期の子どもとぶつかりながらも「これも成長」と、「楽しんで」見守る姿勢を続けています。9ぴーちゃんのママたちがいつも笑顔でいられますように！

新型コロナウイルスの影響で、思うように活動できないことが多いですが、これからも親子で楽しめる活動をしていきたいと思います。新規メンバーも随時募集中です♪

◆お問い合わせ先◆ 精華町子育て支援センター(子育てサークル事務局) TEL.0774-98-4001

ギャラリー

Gallery Hana



ほうその保育所
児童の作品



「カメレオンのかきごおりやさん」



「サメ」



「ぞうのエルマー」



「えんどうまめ」



「サメ」



「たのしかったうんどうかい」

表紙写真

ウインドアンサンブル

○撮影日：令和3年12月

○撮影場所：東光小学校

○提供者：東光小学校

編集後記

梅のつぼみも膨らみはじめ、日差しの明るさに春の兆を感じるようになりました。

新たな変異株が猛威を振るっています。本町では3回目のワクチン接種に向けた取り組みをすすめています。議会においても感染症対策として今後も手洗い・うがい・マスク着用などをしっかりと行い、感染拡大防止に努めていきます。

皆様に親しまれる誌面作りをこれからも続けていきます。